

令和元年度 事業報告書

(自 平成31年4月1日 至 令和2年3月31日)

第1 概要

令和元年中の熊本県下の刑法犯認知件数は、6,498件で対前年比434件減少し16年連続して減少している。

熊本県警では、良好な治安の実現に向け犯罪情勢や社会情勢を踏まえた活動計画『安全・安心くまもと』実現計画2018』の2カ年計画が昨年末で終了し、本年も引き続き『安全・安心くまもと』実現計画2020』を策定し安全で安心して暮らせる熊本の実現に向けた取り組みを推進している。

現下の治安情勢については、刑法犯認知件数の減少傾向の定着など一定の成果がみられるものの、子ども・女性を被害とする犯罪の多発や「電話で『お金』詐欺」被害が高水準で推移するなど、依然として県民の身近な犯罪被害が治安課題となっている。

当協会の令和元年度の事業計画は、「実現計画2018」の重点目標である「子供・女性・高齢者の安全と安心の確保」及び「被災地の安全と安心の確保」を活動重点に定め、広報紙「防犯くまもと」の発行をはじめ各種広報啓発活動、地域防犯ボランティア活動の支援、関係機関・団体と連携した防犯活動を推進した。

各事業の実施結果については以下のとおりである。

第2 協会運営

1 定時総会

令和元年5月23日、ホテル熊本テルサにおいて開催し、冒頭、防犯功労者等の表彰を行い、平成30年度の収支決算等を審議し議案どおり承認を得た。

2 理事会

(1) 第1回通常理事会

令和元年5月2日、平成30年度の収支決算等を審議し議案どおり承認を得た。

(2) 第2回臨時理事会

令和2年1月20日(月)、臨時理事会を開催し、当協会の「会費の使途」に関する規程の見直しを行い、会費(正会員費及び賛助会費)の50%以上を公益目的の事業に使用する規定に一部改正した。

(3) 第3回通常理事会

第3回通常理事会は、新型コロナウイルス感染防止対策上、開催を中止した。

議案である令和2年度の事業計画(案)及び収支予算(案)等については、全理事・監事の同意を得て議案どおり承認を得た。

第3 地域防犯対策事業

1 犯罪防止の広報・啓発事業

(1) 地域防犯活動の推進

ア 令和元年全国地域安全運動の実施

令和元年10月11日から同月20日までの10日間、「みんなで つくろう

安心の街」をメインスローガンに実施した。

実施に伴い、防犯標語等の募集を行うとともに、啓発チラシ及び広報用物品を作成し、各地区防において、防犯診断、振り込め詐欺被害防止広報キャンペーン等において活用した。

(「防犯くまもと」令和2年新年号に各地区防の期間中の主な取組を掲載)

イ 防犯標語の募集、優秀作品の選考、表彰

全国地域安全運動に伴い、防犯標語等を募集し、小・中・高校生等から、防犯標語866点、防犯ポスター21点、青パト活動写真16点の応募があり、優秀作品を選考し全国優秀選考に上申するとともに、熊本県優秀賞を選考、表彰した。

優秀作品を掲載した広報チラシを作成し、配布するなどし広報啓発に活用した。

以下、優秀作品は次のとおり。

○ 全国入選作品

標語「暴力団排除の徹底」の部

- ・佳作 玉名女子高校3年 上村 優理亜さん
「暴力団 みんなでなくす 地域の輪」

○ 熊本県入選作品

標語1「子供・女性の犯罪被害防止」の部

- ・最優秀賞 玉名女子高校1年 前村 美咲さん
「守ろうよ 子どもの笑顔 地域の輪」
- ・優秀賞 崇城大学4年 米満 晃さん
「いかのおすし 親と子の 合言葉」
- ・優秀賞 地方公務員 上田 敏也さん
「地域の輪 笑顔で作る 通学路」

標語2「暴力団排除の徹底」の部

- ・優秀賞 矢部高校2年 井上 香恋さん
「暴力団 徹底排除で 明るい町を」
- ・優秀賞 玉名女子高校2年 原口 岬さん
「暴力団 私の町には お断り」

防犯ポスターの部

- ・優秀賞 阿蘇西小学校3年 山口 凜恋さん

青パト活動写真の部

- ・優秀賞 八代工業高校定時制1年 佐藤 湖樹さん

(「防犯くまもと」令和元年秋季号に掲載)

ウ 啓発チラシの配布

前記防犯標語等入りのチラシを7,500枚作成し、各地区防等において街頭キャンペーンで配布するほか、各種会合、防犯講話等において配布し犯罪被害防止の広報啓発に努めた。

エ 青パト活動の推進

(7) 芦北町防犯協会に対する青パトの配分

全防連の宝くじ事業支援に青パト車両の配分要請を行い、令和元年度の配分

に決定し、芦北町防犯協会に青パトが配置された。

(1) 県防連車両の青パト活動

青パト車両の指定を受けている当協会車両にて、熊本市内を中心に計画的に青パト活動を実施した。

(ウ) 青色回転灯の助成

地区防からの助成依頼を受け、地区防が保管し、必要に応じて地域防犯ボランティアの青パト車両に貸し出す青色回転灯を助成した。

(2) 広報啓発活動の推進

ア 広報紙「防犯くまもと」による広報啓発活動

当協会発行の広報紙「防犯くまもと」は、年4回発行し、各自治会等を通じて県下一円に配布・回覧した。

広報内容は、警察や関係機関と連携し、地域安全情報、防犯環境の向上、各地区防の活動紹介等を掲載し広く県民に防犯意識の啓発に努めた。

発行月、発行部数は以下のとおり。

○ 発行月

4月(春季号)、7月(夏季号)、10月(秋季号)、1月(新年号)

○ 発行部数

1回 76,500部

年間合計 306,000部

イ ホームページの活用

当協会ホームページに広報紙「防犯くまもと」を発行の都度掲載するほか、優秀作品の防犯標語等を掲載し、ホームページによる広報啓発に努めた。

(3) 各地区防と連携した防犯広報

街頭犯罪の被害防止目的に各地区防の要望を踏まえ

- ・のぼり旗の作成、配布
- ・街頭キャンペーン用防犯グッズ(標語入りミニタオル等)
- ・小学生向け防犯広報物品(いかのおすし文具セット等)

をはじめ、広報啓発防犯グッズ約9800点を各地区防に配布し啓発に努めた。

(4) 「電話で『お金』詐欺」(振り込め詐欺等)の広報

令和2年1月、熊本県警が振り込め詐欺等被害防止の強化対策として、より一層県民に周知し被害の絶無を図るため、「振り込め詐欺」の名称を「電話で『お金』詐欺」に変更したことから、被害防止に向けた広報チラシを3万枚作成し、周知に努めた。

(5) その他の広報啓発

各種防犯広報冊子等の購入と地区防、関係機関・団体への配布等

- 防犯手帳の斡旋 1,016冊
- 「安心な街に」 2,796冊
- 「家庭と防犯」 36冊
- 住居侵入犯罪最強防犯読本 3,300冊

(6) 賛助会員に対する各種広報啓発資料の提供

賛助会員に対し、「安心な街に」、「防犯くまもと」などを配布し活動への理解と協力の啓発に努めた。

また、定時総会において、7賛助会員に対して長年の支援に対する感謝状を贈呈した。

2 防犯関連団体への支援事業

(1) 防犯ボランティア団体の活動支援

ア 「防犯若武者ベアーズ」の活動支援

県内の大学生で構成する「防犯若武者ベアーズ」のボランティア保険、振り込み詐欺被害防止寸劇等の活動支援として10万円を助成した。

イ 「サイバー防犯ボランティア」の活動支援

県内の大学生で構成するサイバー防犯ボランティアの活動の支援として15万円を助成した。

ウ 「高校生サイバーセキュリティプレゼン」の活動支援

令和元年9月16日、警察本部多目的ホールにて、サイバーセキュリティ防犯活動を実施している県下2高校、1高等専門学校生による「高校生サイバーセキュリティプレゼンコンペティション」が開催され、活動を支援した。

(同開催内容は全防連広報誌「安心な街に」11月号に掲載)

エ 次世代防犯ボランティアリーダー研修会への参加

全防連が隔年毎に開催する「次世代防犯ボランティアリーダー研修会」参加に応募した防犯ボランティア大学生3名を派遣し、活動の波及効果を図った。

同研修会は、2日間にわたり防犯パトロールの実践活動、グループ検討会などが実施された。

(2) 熊本県暴力追放県民大会の後援

令和元年度熊本県暴力追放県民大会が、令和元年11月1日、合志市文化会館で開催され、同大会を後援し暴力追放運動を支援した。

(3) 令和元年度「くまもと安全安心まちづくり県民大会」の後援、参加

令和元年10月28日開催された、「くまもと犯罪の起きにくいまちづくり県民会議」による「犯罪被害者への支援と子どもと地域を守るために」をテーマとした県民大会を後援した。

(4) 地区防に対する助成支援

ア 地域防犯ボランティア活動用物品の配布

防犯ボランティアの活動用防犯ベスト1,160着及び防犯帽子1,020個を各地区防に配布し、防犯ボランティアの活動を支援した。

イ 御船地区防に対する支援

全国地域安全運動に伴い、御船地区防では、防犯意識の啓発の一環として、御船警察署と協働して「一日警察署長」を実施し、実施に伴う経費の補助要請を受け一部支援した。

3 青少年の健全育成事業

(1) 少年柔道剣道錬成大会関係

令和元年8月7日、県防連・熊本県警察共催による「第36回熊本県警察少年柔

道剣道錬成大会」を開催、県下小中学生41チーム、243名の児童・生徒が参加して錬成を実施した。

本大会は、昭和58年に第1回大会を開催し、以後、熊本地震などの災害等による中止を除き毎年開催していたが、令和元年の第36回を最後に開催を終えることとした。

本大会は、各警察署の道場で指導する柔剣道を通じて、少年の健全育成活動を目的に実施してきたものであるが、同規模の大会が他に多数開催されており、その役割を果たしたものとして、警察との共催による県下大会を終了することとした。

なお、今後、地区防と連携して各警察署において少年柔道・剣道の指導を通じて実施される健全育成活動や防犯活動等に対する支援を実施していくこととする。

(2) 熊本県少年警察ボランティア活動の支援

各地区少年警察ボランティア活動の充実、活性化を図るための地区活動の支援として15万円を助成した。

(3) 警察、少年警察ボランティア及び地区防が連携して行う「肥後っ子の居場所づくり事業」(8地区防等、延べ11回実施)の活動支援として、20万円を助成した。

4 防犯機器等の普及事業

各地区防と連携し効果的な防犯ボランティア活動を推進するため、防犯広報冊子や防犯ブザー、防犯腕章等の防犯活動資機材の斡旋販売を行い、その普及に努めた。

5 防犯功労者・団体の表彰及び感謝状の贈呈

(1) 防犯功労表彰

ア 県防連表彰

令和元年5月23日、定時総会において、県防連会長・警察本部長連名の表彰を以下のとおり実施した。

- 防犯功労団体 9団体
- 防犯功労者 35名

イ 全防連表彰

令和元年9月26日、全防連表彰を以下のとおり受賞した。

- 防犯功労者 金章1名、銀章2名、銅章6名
- 功労防犯ボランティア団体 1団体

ウ 九防連表彰

令和元年10月1日、九防連表彰を以下のとおり受賞した。

- 防犯功労団体 1団体
- 防犯功労者 4名

(各受賞者、受賞団体については「防犯くまもと」に掲載し紹介)

(2) 感謝状の贈呈

賛助会員として長年にわたる活動支援に対して、7会員に感謝状を贈呈した。

6 地域防犯活動の指導及び実施

(1) 「平成31年度被災地防犯アドバイザー業務」の実施

熊本県警からの委託事業「平成31年度被災地防犯アドバイザー業務」は、防犯アドバイザー6名体制で実施した。

活動は、

- ・自治体、各地域支え合いセンターとの連携活動
- ・仮設団地の訪問活動による相談対応
- ・仮設団地における防犯指導、防犯講話の実施

等をはじめ、各警察署、地区防と協働した地域防犯活動を実施した。

(2) 防犯カメラ設置支援

県警の児童・生徒の安全対策事業「防犯カメラ設置による通学路安全対策」の協働事業として、県下2小学校区（泗水小・亀川小学校区）を選定し、防犯カメラ7台の設置を助成をした。

(3) 子ども安全対策の「地域安全マップ作製指導者研修会」への参加

令和2年1月21日、宇土市立花園小学校において開催された「地域安全マップ作製指導者研修会」（県くらしの安全推進課主催）への職員派遣の要請に基づき、当協会、宇城地区防が参加し、児童のフィールドワークの見守り活動等実施した。

第4 自転車防犯対策事業

1 業務委託契約状況

令和元年度の自転車販売店との業務委託契約、登録件数等は次のとおりである。

○ 業務委託契約件数

- ・令和元年度中の新規契約件数 15件
- ・令和元年度中の契約解除件数 12件
- ・業務委託契約総件数 217件

○ 送付件数・登録件数

- ・登録証の送付件数 59, 510件
- ・登録証の登録件数 61, 418件（前年度受理分を含む）

2 自転車防犯登録システムの一部改修

県警の自転車防犯登録システムの一部改修に伴い、当協会の防犯登録システムの変更を行うとともに、システム変更に対応するため、登録カード等の様式を変更し、令和元年10月1日から新様式による防犯登録業務に変更した。

3 消費税増税に伴う措置

令和元年10月1日からの消費税増税に伴い、増税分を当協会が負担するため、販売店に支払う手数料を引き上げる変更手続きを行い、増税措置に適正に対応した。

4 迅速かつ正確な登録業務の実施

登録制度の適正な運用を図るため、迅速かつ正確な登録情報の入力に努めるとともに、警察からの登録情報に関する照会業務に適切に対応した。

5 登録制度の周知、盗難等被害防止広報

- (1) 広報紙「防犯くまもと」等を活用し、登録制度の法的義務、重要性和新規、変更、抹消登録の確実な届出の周知を図った。
- (2) 各地区防と連携し、自転車盗難防止に向けた二重施錠、施錠点検等被害防止・被害回復に向けた広報活動を実施した。

第5 風俗環境浄化事業

1 熊本県風俗環境浄化協会事業

- (1) 「熊本県風俗環境浄化協会」（熊本県公安委員会の指定団体）として、熊本県公安委員会から「風俗営業に係る管理者講習」及び「風俗営業の許可等に関する調査業務」の委託を受け適正に業務を実施した。

ア 管理者講習の実施

年間実施計画に基づき、定期講習を13回開催し、446名の受講者に管理者講習を実施した。

- 専務理事以下職員による風営適正化法に関する講義
- 「風俗営業管理者ハンドブック」等、講習資料の配布
- DVD「風俗営業管理者業務のあり方」による研修
- 理解度のテスト（効果測定）

イ 調査業務

風営適正化法に定める営業許可申請、変更承認申請に伴い、許可基準、構造設備の技術上の基準の適合等の調査を下記のとおり実施した。

- 営業許可申請調査 169件（前年度比－8）
- 変更承認等申請調査 30件（前年度比＋7）
- 調査合計 199件（前年度比－1）

- (2) 風営適正化法に違反する行為を防止するための啓発活動

風俗営業者の法令遵守の意識を啓発するため、管理者講習及び調査業務時に、営業者等に対して、

- 小冊子「不法就労外国人を雇用しないためのQ&A」
- リーフレット「あなたのお店はだいじょうぶ？」
- チラシ「風俗営業の遵守事項」

を配布し、自主的な啓発の促進を図った。

- (3) 風俗環境浄化事業に付帯する事業

風俗営業の適正な業務を促進するため、風俗営業所備え付け関係資料を下記のとおり販売した。

- 従業者名簿 137部（対前年度比＋20部）
- 管理者業務実施簿 124部（対前年度比－12部）

2 風俗環境浄化活動に係る支援

- (1) 繁華街対策支援

繁華街の安全・安心と風俗環境浄化対策の活動支援として、熊本中央地区防に繁華街対策会議、防犯ボランティア活動及び防犯グッズ購入費等の支援として25万円を助成した。

- (2) 「熊本市客引き行為等の禁止に関する条例」の広報活動支援

平成31年4月1日、客引き等禁止条例が施行されたことから、熊本中央地区防に対して、条例の周知徹底を図るための街頭キャンペーン用の広報啓発用物品を助成した。

- (3) 広報啓発活動

熊本県遊技業協同組合が実施する不正防止対策推進要綱に基づき、遊技店舗に対する立入検査を16回実施し、88店舗の立入調査に従事し、健全な営業の啓発に

努めた。

第6 収益事業「AMマークの販売事業」について

1 概要

収益事業の「AMマークの販売」は、遊技機が「地域防犯協賛機」と証するシールである「AMマーク」を熊本県遊技業防犯協力会を通じて各遊技場に販売し、その販売収益を公益事業に充当している。

2 令和元年度の事業結果

令和元年度は、AMマークを6万枚（1枚140円）販売し、販売手数料等経費を除き、販売収益については公益事業に充当した。

第7 会議等

1 全国防犯協会連合会専務理事等会議

令和元年7月4日、東京都内において開催され、専務理事が出席した。会議では、地域防犯活動及び風俗環境浄化活動の研修が実施された。

2 九州防犯連絡協議会総会・研修会

令和元年7月17日、熊本市内において開催され、専務理事が出席した。研修会では、地域防犯活動の事例、協議検討等がなされた。

3 九州各県防犯協会専務理事等会議

令和元年11月7日、沖縄県下において開催され、専務理事が出席した。会議では、地域防犯ボランティア団体の活性化、自転車防犯登録業務等について協議検討した。

4 県下防犯協会職員研修会の開催

令和元年9月6日、パレア熊本において研修会を開催した。

研修会では、県防連の業務連絡後に、

- ・熊本南地区防から「地域防犯ボランティア活動の活性化方策」
- ・山鹿地区防から「効果的な地域防犯ボランティア活動」
- ・高森地区防から「積極的な防犯カメラ設置事業の推進」

について発表がなされ、協議検討を実施した。

5 関係機関・団体の主な行事等への参加

関係機関・団体等の主催行事の後援、会議出席等以下のとおり行い連携に努めた。

- くまもと犯罪の起きにくいまちづくり県民会議
- くまもと安全安心まちづくり大会
- 振り込め詐欺の被害をなくす県民の会総会
- 犯罪被害者支援協議会総会
- 地域支え合いセンター関係機関・団体連絡会議
- 熊本県暴力追放県民大会
- サイバーセキュリティ推進協議会定例会
- 熊本県防犯設備協会総会
- 熊本県警備業協会理事会・総会
- 熊本県社交飲食業生活衛生同業組合 等

以上